



1_出席者全員での校歌斉唱。/2_校舎下では小中学生が卒業記念で描いた壁画が来校者を出迎える。/3_閉校宣言を読み上げる、小川教育長。/4_高以良校長が小川教育長に野子中学校校旗を返納。



閉校式後に、在校生と教職員での記念の1枚。

野子中学校のあゆみ

History

- 令和3年3月 閉校
- 令和元年7月 女子バレー部が県中総体3位入賞
- 平成31年2月 委員表彰
- 子どもの読書活動優秀実践校として県教育大臣賞を受賞
- 情報通信の安全な利用のための標語で総務大臣賞を受賞
- 平成30年6月 学校保健推進学校努力賞(2年連続)
- 平成24年11月 学校保健推進学校努力賞
- 平成24年2月 スクールポート運行開始
- 平成22年4月 野子中学校高島分校閉校
- 平成18年3月 本校体育館落成
- 平成10年3月 本校鉄筋3階建て新校舎竣工
- 昭和46年3月 野子中学校校旗作成
- 昭和38年3月 高島分校新校舎落成
- 昭和29年4月 本校、木造新校舎落成
- 昭和25年3月 学制改革により野子中学校および高島分校設置
- 昭和22年4月 学制改革により野子中学校および高島分校設置

特集

たくさんの思い出をありがとう

～野子中学校、73年の歴史に幕～



生徒代表あいさつ
 「野子中での経験と知識、思い出を忘れず、これからも前に進んでいく」
 平戸市立野子中学校
 3年(令和2年度)
 柴山 れゆさん

学校生活では、限られた人数での生徒会活動や行事の運営をとおして、仕事に責任をもって取り組むことの大切さと、みんなで協力して達成することの素晴らしさを学びました。部活動では部員数が少ない中で、毎日、一生懸命に練習に取り組み、県中総体で3位の成績を残すことができました。

野子中で培った経験や知識、たくさんの思い出を忘れず、これからも力強く前に進んでいきます。



PTA代表あいさつ
 「多くの友達と出会い、協調性、競争力を身につけ立派に成長してほしい」
 平戸市立野子中学校
 PTA会長(令和2年度)
 小山 順也さん

バレーボールや剣道、テニスなどで優秀な成績を残してきた野子中学校が閉校になることは、子どもが減少している状況を見ると仕方の無いことですが、残念に思います。

南部中学校に転校・進学する子どもたちは、新しい環境で不安もあるかと思いますが、より多くの友達と出会い、協調性や競争力などを身につけ、心も身体も強い立派な人間に育ててほしいと思います。



校舎は後輩である小学生に引き継がれる

式典の最後には、高以良校長から小川教育長へ校旗が返納されました。

閉校式で高以良校長は「野子中学校は文武に優れた成績を収めてきました。運動面では、県下でも上位の成績を収めてきました。運動面では、令和元年度に女子バレーボール部が県中総体で3位に入賞するなど輝かしい成績を残しました。中学校閉校は心から残念ですが、生徒数減少という現実を考えるとやむを得ないこととも思います。校舎は後輩である小学生に引き継がれます。これからも地域とともにある学び舎として受け継いでいきます。南部中でも、野子魂を発揮して活躍を期待しています」と挨拶しました。

市内最南端の中学校
 昭和22年4月に学制改革により設置された野子中学校。平戸市最南端に位置し、志々伎山に見守られながら、73年にわたり野子・福良、宮の浦、高島の子どもの学び舎として地域とともに歩んできましたが、この春、その歴史に幕を降ろしました。

別れを惜しんだ閉校式
 2月27日、野子小中学校の体育館において、野子中学校閉校式が行われました。式典には、在校生6人とその保護者、教職員、来賓など



式辞を述べる高以良校長

42人が出席し、野子中学校との別れを惜しみました。

閉校式で高以良校長は「野子中学校は文武に優れた成績を収めてきました。運動面では、県下でも上位の成績を収めてきました。運動面では、令和元年度に女子バレーボール部が県中総体で3位に入賞するなど輝かしい成績を残しました。中学校閉校は心から残念ですが、生徒数減少という現実を考えるとやむを得ないこととも思います。校舎は後輩である小学生に引き継がれます。これからも地域とともにある学び舎として受け継いでいきます。南部中でも、野子魂を発揮して活躍を期待しています」と挨拶しました。



「友達をたくさん作り
充実した学校生活に」

野子中学校1年(令和2年度)
宮木 秀さん

1年間の野子中での学校生活の思い出は文化祭で劇をしたことです。同級生と2人でセリフを考えたり、衣装を準備したり、一から作り上げたことは良い経験になりました。

4月から南部中学校に転校します。不安もありますが、友達をたくさん作り、勉強も部活も充実した学校生活を送れるよう頑張ります。



1年生2人で一からすべて考えた劇を文化祭(みやま祭)で披露。



「野子中バレー部での
経験を活かしたい」

野子中学校3年(令和2年度)
小山 莉央さん

学校生活では特にバレーボールを頑張りました。部員が少なく、できる練習も限られていましたが、県中総体では3位になることができました。

春から聖和女子学院高校に進みます。同級生が九州文化学園高校に進むので、県大会決勝のコートでの対戦を夢見て、野子中バレー部での経験を活かしながら頑張りたいと思います。



少人数ながら令和元年度の県中総体で3位入賞。春からはバレー強豪校に進学。



「母校がなくなり
さみしく思います」

卒業生(昭和60年度卒)
松永 悦朗さん

中学時代は部活動のテニスに打ち込み、県大会に出場したことが特に記憶に残っています。当時から、1学年15人程と少人数でしたが、幼稚園から一緒なので兄弟のような感覚でした。

野子はPTAはもちろん、地域全体で子どもたちを育み応援するという意識が強いので、地元の中学校がなくなるのはさみしいですね。



PTA主催の行事も盛ん。小中学生合同での釣り大会は毎年開催されている。

ともに学びともに遊ぶ 小中併設校ならではの学校生活

野子小中学校では、小学生と中学生が同じ校舎で一緒に学び、一緒に遊ぶことで、小学生は中学生を手本とし、中学生は小学生のお世話をするすることでともに成長してきました。



小中学校合同での運動会。さまざまな行事で中学生がお手本となっている。

市内に2校のみの小中併設校である野子小中学校。年々生徒数の減少が進み、部活動などの関係で隣の南部中学校に通う生徒も増えていきました。
令和2年度は、中学生6人、小学生30人が同じ校舎で学びました。日々の学校生活はもちろん、運動会や文化祭、入学式、卒業式などの学校行事で中学生が小学生の世話を払い、学校生活をおして思いやりの心が育まれています。
小学生も、同じ校舎に中学生というお手本がいることで、数年後の自分の成長した姿を思い描くことができています。

中学生が小学生の良き手本に



中学生が先頭に立ち、ごみ拾いをしながら登校。

き、校内では中学生を慕っている姿が見られます。

小中併設校だからできること

野子小中学校では、小中併設校という特徴を活かした取り組みが行われてきました。月に1回行われている、ごみ拾い登校では、近所の小学生がグループになり、通学路に落ちているごみを拾いながら登校します。中学生がリーダーとなり、小学生と一緒に登校する姿は、野子中学校ならではの光景です。
ほかにも、読書週間での中学生による読み語りや全校児童生徒で鬼ごっこなどをして遊ぶスパー全校遊びなど、小中学生が一緒になって取り組む行事が多数あります。
このように、小中併設校ならではの学校生活をおして、中学生と小学生がともに成長してきました。

野子中学校最後の卒業式

3月16日、あいにくの雨となった野子小中学校の卒業式。今年度は、中学生4人、小学生7人が学び舎から巣立ちました。

今年度卒業した小学生は、春から南部中学校に通うこととなり、野子中学校1年生の2人も南部中学校へ転校します。

これまで、地域に根差し、志々伎山に見守られながら、多くの生徒を育んだ野子中学校は閉校となりますが、そこでの思い出はいつまでも心に残り続けます。



上_高以良校長から卒業証書を授与される楠富拓望さん。/左_野子中学校最後の卒業生たちが希望を胸に退場。



思い出はいつまでも心の中に
73年間、ありがとう